

つばき ケーブルベヤ®

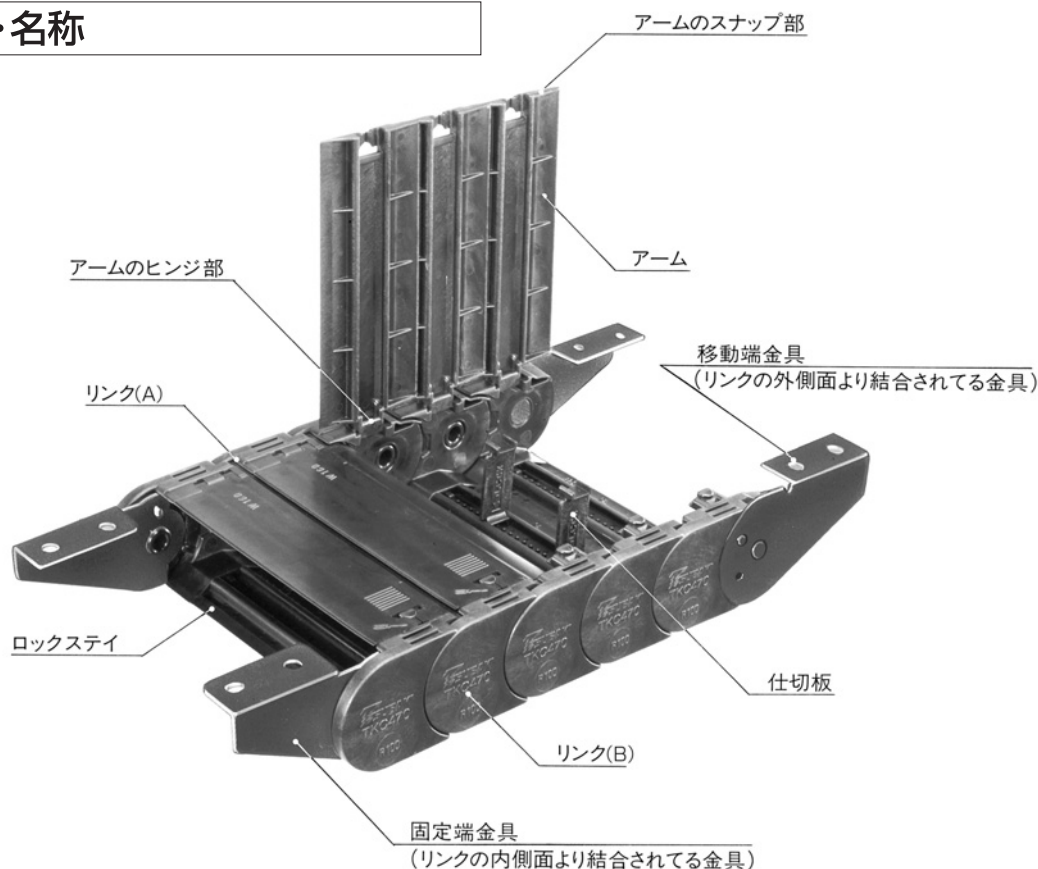
PAT

取扱説明書

TKC34H25 ・ TKC47H36 ・ TKC64H50 ・ TKC85H68
(旧 TKC0340) (旧 TKC0470) (旧 TKC0640) (旧 TKC0850)

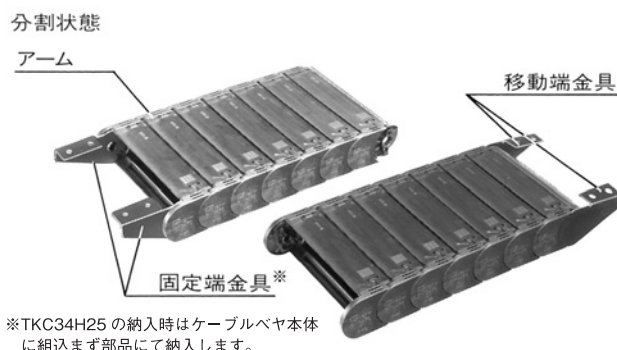
このたび「つばきケーブルベヤ」をお買い上げくださり誠にありがとうございます。
本取扱説明書では、納入状態から機械への装着までの要領を記載しておりますので、ご一読の上作業を進めて頂きたくお願い申し上げます。

1 構造・名称



2 納入状態

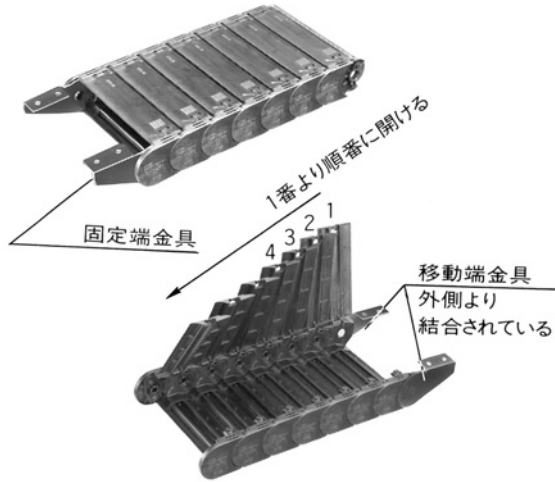
- 1) ①TKC34H25の場合
移動端金具はケーブルベヤ本体に組込んで、固定端金具・仕切板は部品にて納入します。
- ②TKC47H36、TKC64H50、TKC85H68の場合
移動端金具、固定端金具ともケーブルベヤ本体に組込んで、仕切板は部品にて納入します。
- 2) ケーブルベヤ本体が長尺(目安:4m以上)の場合は原則として分割して納入します。



3 ケーブルベヤの連結

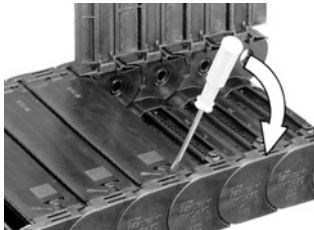
3-1 アームを開けます。

ケーブルベヤの移動端側(下図の1番)から順番にアームを開けます。

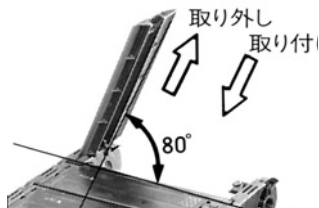


アームのスナップ部には、「ドライバーマーク」が付いています。この先端の隙間に⊖ドライバーを差し込みアームを開けます。

移動端側から順番に開ける。



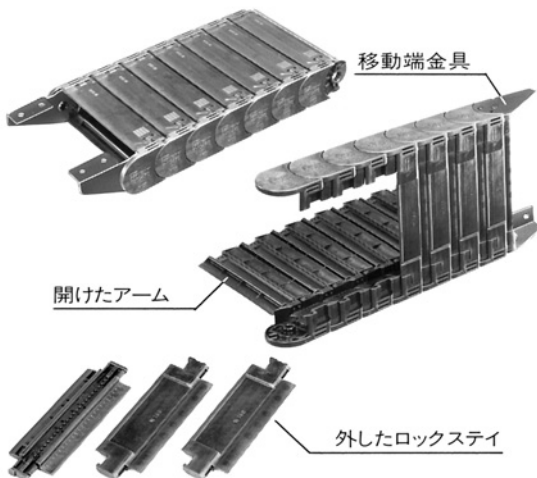
- ①1.ドライバー先端の大きさ
- | | |
|----------|--------|
| TKC34H25 | 幅4.5mm |
| TKC47H36 | 幅6.0mm |
| TKC64H50 | 幅8.0mm |
| TKC85H68 | 幅8.0mm |



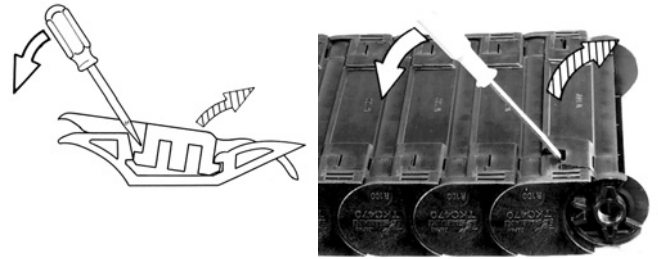
- ②2.アームは80°位に起こして引張ると、取外すこともできます。

3-2 ロックステイを外します。

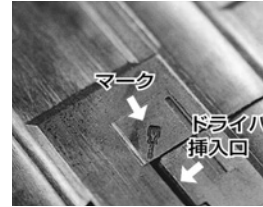
移動端側の連結部で、ロックステイを、3個又は4個外します。



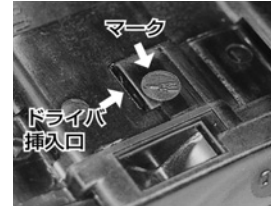
ロックステイのドライバーマークが付いているスリットのミゾに⊖ドライバーを差込んで矢印(⇨)方向にこじるとロックステイが(⇩)の方向に外れます。



※ロックステイの取外し案内マーク(ドライバーマーク)

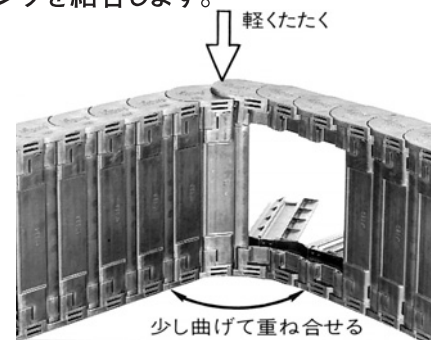


TKC34H25の場合



TKC47H36・TKC64H50
・TKC85H68の場合

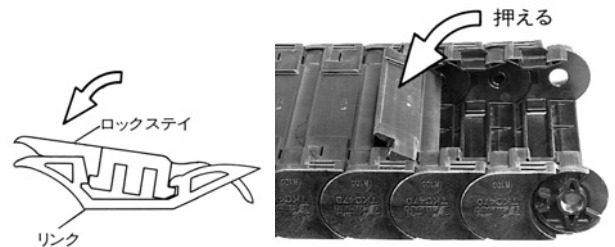
3-3 リンクを結合します。



- 1)ピンと穴、ストッパーの凹凸を合せて、リンク部を手で強く押すか、プラハンマーで軽くたたいて結合する。
- 2)ストッパーの凹凸は、リンク～リンクを屈曲半径側に少し曲げて(約5°)合せる。

3-4 ロックステイを取付けます。

断面図のようにロックステイをリンク(A)・(B)に同時に入れた後で矢印(下方)の方向へ押えて固定します。



- ③3.ロックステイの両端をリンク(A)(B)に同時にはめ合わせる。



※ロックステイの取付案内マーク(リンクとの合わせマーク)



TKC34H25の場合



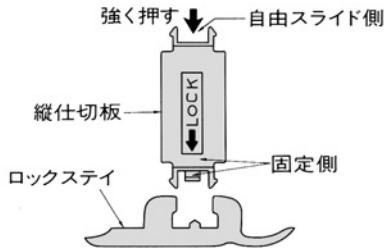
TKC47H36・TKC64H50
・TKC85H68の場合

4 ケーブル・ホースの挿入(セット)

4-1 アームを開けます。

3-1項参照。

4-2 仕切板を取付けます。



1) 縦仕切板をロックステイに取付ける方法には、2つの方法があります。

① 固定する場合

縦仕切板のLOCK ▶マークを下にして、ロックステイに結合すると所定の位置で固定できます。

縦仕切板の固定位置は、5mmピッチで変えることができます。

② 自由にスライドする場合

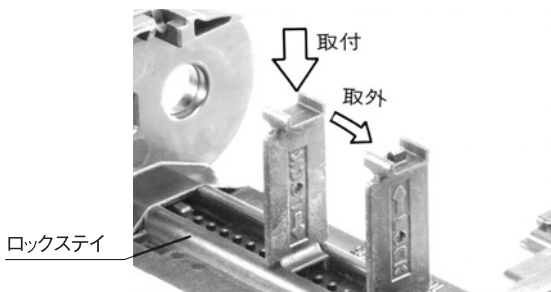
仕切板のLOCK ▶マークを上記と逆(上側)にすると、ロックステイの凹溝内を自由にスライドします。

2) ロックステイの凹部に縦仕切板を合せ、手で強く押すと取付けられます。

3) 仕切板の取付

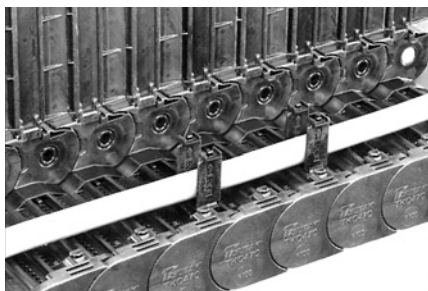
仕切板の取付けピッチは原則として2リンク毎です。

4) 縦仕切板をロックステイから取外すときは、仕切板を横方向に倒してください。



4-3 ケーブル・ホースを挿入します。

ケーブル・ホースを所定の位置に挿入します。

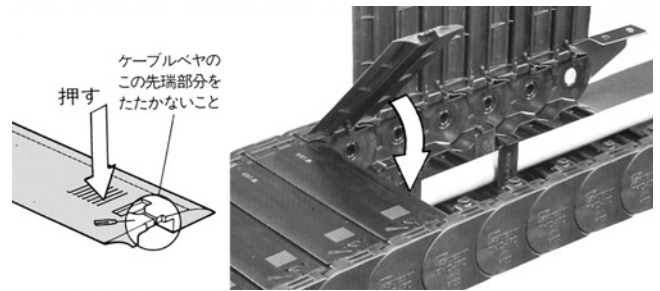


4-4 アームを閉じます。

ケーブルベヤの固定端側からアームを閉じます。

アーム上面の ≡ マーク部を手で強く押すか、プラハンマーで軽くたたいて、アームとリンク(B)を結合します。

(アームの ⊗ 部をたたくと割れる場合もあります)

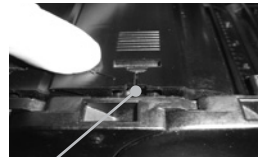


③ 固定端側から順にアームを閉じてください。

<ご注意点>

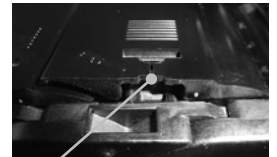
アームを完全に閉じる前にはアームを手で押さえ、リンク(B)に仮止めした状態で、≡マーク部を手で押すか、プラハンマーで軽くたたいてください。※仮止めされていない状態でアームをたたくと、アーム先端部が割れる場合があります。

○ 仮止めした状態



リンク上端面からの浮きが小さい

× 仮止めされていない状態



リンク上端面からの浮きが大きい

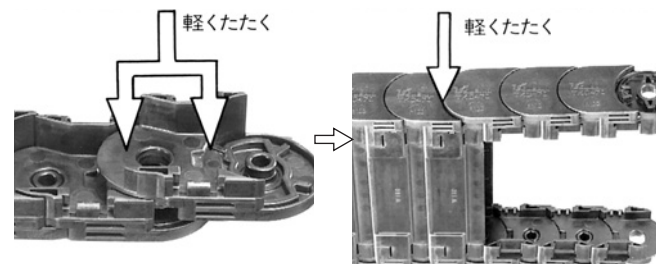
5 ケーブルベヤを延長する場合

5-1 移動端金具を取外します。

リンクと金具の間に ⊙ドライバーを入れて金具を外します。又は1リンク目のリンクを外します(6項参照)。

5-2 延長リンクを連結します。

まず、リンク(A)、(B)の各々をプラハンマーで軽くたたいて連結します。



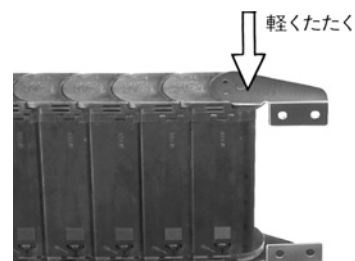
5-3 延長リンクにロックステイを取付けます。

3-4項参照。

5-4 仕切板・アームを取付けます。

4-2項参照。

5-5 移動端金具を取付けます。



6 ケーブルベヤを短縮する場合

6-1 移動端側からアームを外します。

3-1項参照。

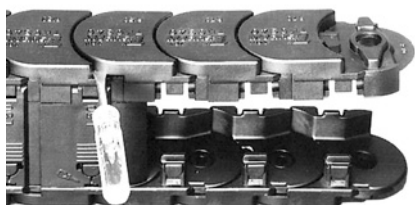
6-2 ロックステイを外します。

3-2項参照。

6-3 リンクを外します。

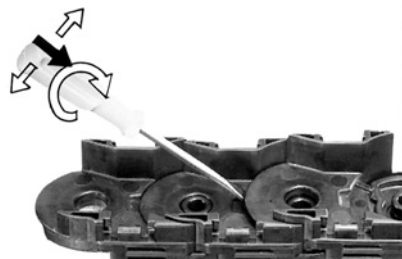
①TKC34H25、TKC85H68の場合

リンクの隙間に⊖ドライバーを差込んで分離します。
金具も同じ要領です。

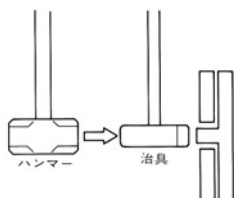


②TKC47H36、TKC64H50の場合

リンクの隙間に⊖ドライバーを差込んで分離します。



③ドライバーを差込む方法の他に、リンクのピン部に治具をあてて、ハンマーで軽いたたく方法もあります。



6-4 移動端金具を外します。

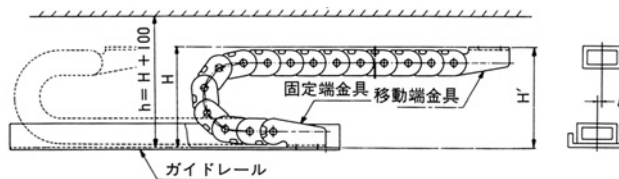
リンクと金具の間に⊖ドライバーを入れて金具を外します。

6-5 移動端金具を取付けます。

5-5項参照。

7 取扱上の留意点

ケーブルベヤには、ご使用条件によっては、フリースパン部にふくらみやたわみがあらわれますが、当社能力線図内で選定されている場合は、使用上問題ありません。



1. 機械装置の移動端取付高さ(H')は、ケーブルベヤの高さH+(10~30)としてください。
2. ケーブルベヤの空間高さ(h)は、H+100としてください。
3. ガイドレールを取付けてください。
4. 移動端金具と固定端金具の取付面誤差(ε)は、6mm以下にしてください。
5. ケーブルホースは屈曲性耐摩耗性に優れた移動用のものを使用してください。
6. ワイヤブレード外装のものは、いたみやすいことがあるので、使用を避けてください。
7. ケーブルホースを積重ねて使用すると摩耗が生じやすいので、横に並べるか、横仕切板をご使用ください。
8. ケーブルホースは長さに余裕をもってセットし、適正な長さに調整の上、両端部でクランプしてください。
9. ガイドレール内に異物があると、破損の原因になりますので取除いてください。
10. 次の部品は部品送りいたしますので取付時に組込み願います。
 - ・ 仕切板
 - ・ TKC34H25の場合のみ：固定端金具